

経営関連学会協議会（JFMRA）

理事会 議事録

日時：2017年6月4日（日）10：30～12：30

会場：明治大学駿河台研究棟4階第4会議室

出席者

最高顧問	平松	一夫
理事長	風間	信隆
副理事長（情報）	植木	英雄
副理事長（経営）	徐	方啓
副理事長（会計）	佐藤	信彦
理事（会計）	大塚	成男
理事（商学）	濱沖	典之
理事（経営）	海道	ノブチカ
理事（経営）	高垣	行男
理事（商学）	橋本	雅隆
理事（会計）	吉岡	正道
監事	成道	秀雄
特命理事	高橋	誠
特命理事	星野	靖雄
副理事長補佐	大塚	浩記
理事長補佐	池田	武俊

議事

1. 報告事項

第1号報告 電子版英文ジャーナル（JJM）No.2の発行とNo.3、No.4の募集状況について 徐副理事長

当初の発行スケジュールで発行する計画で進行しているが、No.3の締め切りは7月締め切りとしているが、並行してNo.4の募集も進めている。投稿論文、査読者両方との制度を維持していくため、各学会に対して査読者の推薦と、学会推薦論文投稿制度を活用してもらうよう促進する必要があるという認識が示された。

個別の学会レベルでは国際化ということが大きな課題になっているにも限らず、JJMの存在の認知度が未だ低いことが課題である。ホームページ、シンポジウムなどのみならず我々として広報体制を充実させて、協議会およびJJMの存在を学会の中に浸透させていく、学会賞推薦の投稿促進を促していくことが必要であるという認識が風間理事長から示された。

まだ査読者の推薦を頂いていない15学会については、引き続き査読者の推薦を促す努力

していく。ただし、個別の学会固有の特殊事情については別途考慮する必要がある。推薦のお願いのレターは評議員あるいは事務局に対して行こととする。なお、個別の学会から推薦された査読者の任期は経営関連学会協議会理事会（編集委員会）の任期に縛られるものではないことが確認された。

今後、改めて査読者のリストアップ方法については再検討する必要があることも確認された。

第 2 号報告 会計理論学会の退会申し出について 風間理事長

会計理論学会からの退会申し出があったことが報告された。

第 3 号報告 Robert Faff 教授の講演会（4 月 1 日）について 風間理事長

3 月の理事会で後援を行うことを承認した Robert Faff 教授の講演会が、4 月 1 日に開催されたことが報告され、同講演会の内容をホームページに掲載することも確認された。

第 4 号報告 その他

・日本学術会議からの連絡事項

第 2 期理事長であった奥林先生から以下の 2 点の日本学術会議の動向について情報共有がなされた。すなわち、日本学術会議の経営学委員会の人員増強について文部科学省に対して要望が行われたこと、そして日本学術会議経営学委員会経営学大学院教育のあり方検討分科会より専門職大学院の改革についての報告書が出されたことがこれである。今後、今年度の協議会講演会において、この報告書に関わるテーマを取り上げていくことが承認された。

2. 審議事項

第 1 号議案 新規入会申請について 吉岡理事

特定非営利活動法人「包括球学術集会」（理事長 吉岡正道、英文名称 Global Academic Community）について説明があり、審議の結果、同法人の加盟が承認された。

第 2 号議案 2016 年度事業報告について 風間理事長

風間理事長より、資料に基づき 2016 年度の活動報告が行われ承認された。

第 3 号議案 2016 年度収支決算について 佐藤副理事長・成道監事

佐藤副理事長より、資料に基づき 2016 年度の収支決算の報告がなされ、承認された。

また、収支決算に対する監査報告が成道監事より報告された。

第 4 号議案 2017 年度度事業計画について 風間理事長、植木副理事長

2017年度の事業計画について説明がなされ、内容の一部修正のうえ、承認された。

なお、学会の全国大会一覧情報を見やすくするために、ホームページ上の表記を改善することが提案された。現在の大会一覧の情報収集と並行し、カレンダー形式等で分かりやすく見られるようにすることが提案され、今後、変更作業を行っていることが決定された。

第5号議案 2017年度収支予算について 佐藤副理事長

佐藤副理事長より、資料をもとに2017年度収支予算案が説明され、承認された。

第6号議案 2017年度シンポジウムについて

植木副理事長より説明がなされ承認された。11月12日（日曜日）の公開シンポジウムは明治大学グローバルフロントを会場とし、地域創成をテーマに実施することが確認された。シンポジウムの告知は『日本生産性新聞』でも行うことが説明された。また、シンポジウム登壇者などの依頼については、加盟学会4分野の専門性を活かして人選していくことを目指すことが確認された。

第7号議案 日本サービス学会第6回全国大会（2018年3月10日～11日）の後援依頼、および、日本学術振興会学術システム研究センターUCLA Anderson School of ManagementのSanford M.Jacoby教授の講演会（於、明治大学駿河台キャンパス）の後援依頼について

風間理事長から上記2件の後援依頼があったことが説明され、審議の結果、後援を行うことが承認された。

第8号議案 その他

なし

以上